

## 改版履歴

版数	日付	Author	内容
R1.0	2009/05/20	株式会社 アルテシード	新規作成。
R1.11	2009/07/05	株式会社 アルテシード	・プレフィックス名のサポート。 ・サマリーリストの出力。 ・カタログからエラーが返された時、SYSUDUMP が定義されていれば診断用ダンプを出力するため ABEND する。 ・世代管理データセット対応。
R1.2	2009/07/06	株式会社 アルテシード	・カタログアクセスを CSI インタフェースに変更。
R1.21	2021/10/17	株式会社 アルテシード	・別名の関連 DSN(ターゲット・カタログ名)、代替索引の関連クラスター名、パスの関連代替索引名を表示。 ・カタログ探索の選択基準文字を指定可能にした。 ・出力リストのタイトルにデフォルト値も表示するようにした。

## READCAT – カタログリストアップ・プログラム

### プログラム概説

READCAT は、カタログのリスティング・プログラムです。カタログの移行、JOBCAT 廃止のための調査用ツールとして AMS の LISTCAT VOLUME の代わりに利用できます。

指定したカタログに登録されているデータセットごとに、名前、ボリューム名、装置タイプを 1 行に編集して出力します。必要とされる情報がコンパクトにまとまっており、見やすいリストになっています。また出力リストは CSV 形式になっているので、PC にダウンロードすれば Excel で自在に加工できます。

### 提供されるファイル

ファイル名	用途、内容
READCAT.pdf	プログラム・マニュアル
READCAT.obj	オブジェクトモジュール
READCAT-BINDJCL.txt	リンクエディット用 JCL
READCAT-RUNJCL.txt	READCAT 実行用 JCL
READCAT-ZAP(mod1).txt	出力リスト中のカタログ項目名変更用プログラム修正(オプション適用)
READCAT.txt	ソースプログラム(アセンブラ)
READCAT-ASMJCL.txt	アセンブル用 JCL

## インストール手順

- ① READCAT.obj ファイルを、MVS 内の任意の区分データセットのメンバー「READCAT」として、バイナリーモードでアップロードします。このファイルは READCAT プログラムのオブジェクトモジュールです。アップロード先のデータセットは RECFM=F または FB、LRECL=80 でなければなりません。
- ② READCAT-BIND.txt ファイルをサンプルにして、①でアップロードしたオブジェクトモジュールをロードモジュールに変換します。特別な理由がない限り、ロードモジュールのメンバー名は「READCAT」としてください。既存のロードモジュール・ライブラリーまたは新規のロードモジュール・ライブラリーいずれでもかまいません。READCAT を格納するのに必要なスペースは 1トラックあれば十分ですが、新規に READCAT の格納用データセットを作成する場合は、再リンケージすることも考慮して余裕あるスペース量を持たせる方がいいでしょう。なお、READCAT プログラムには APF 許可は不要です。

ロードモジュールが作成できたら、インストール作業は終わりです。

## プログラムの実行

## 実行用 JCL

```

-----1-----2-----3-----4-----5-----6-----7--
//READCAT EXEC PGM=READCAT, PARM=' catalogname, prefix, filter'
//STEPLIB DD DISP=SHR, DSN=... load module library...
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//SYSLIST DD SYSOUT=*

```

## ジョブ制御文 (EXEC 文)

使用目的	指定するプログラム名	PARM パラメータの記述形式
READCAT を実行する	READCAT	PARM=' catalogname, prefix, filter'

## ジョブ制御文 (DD 文)

DD 名	装置	編成	RECFM	BLKSIZE	LRECL	データセットの内容・使用目的
STEPLIB	DASD	PO	U	4096	0	ロードモジュール・ライブラリー。
SYSPRINT	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果サマリーの出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)
SYSLIST	SPOOL DASD	PS	FB	0	132	実行結果の出力データセット。 (通常は SYSOUT データセットを割り当てる)

## PARM パラメーターの指定方法

パラメーター	パラメーターの意味・機能
catalogname	<p>値: カatalog名 省略値: なし(マスターカatalog)</p> <p>リストアップするカatalogの名前を指定します。</p>
prefix	<p>値: プレフィックス名 省略値: なし(すべてのカatalogエントリー)</p> <p>カatalogされたエントリーの中から、リストアップしたいエントリー(データセット名、クラスター名、カatalog名など)の部分修飾名を指定します。このパラメーターを指定すれば、リストアップするデータセットなどを絞り込むことができます。</p> <p>例えば、SYS1.**と指定すれば、SYS1 で始まる名前を持つ、エントリーのみがリストアップされます。</p> <p>名前には総称文字*および%が利用できます。本プログラムが使用している OS のカatalogアクセス・インタフェースは DFDSS 同様の部分修飾名指定をサポートします。具体的な使用法は「DFSMSDss ストレージ管理リファレンス」のデータセット名によるフィルター操作の項を参照して下さい。</p>
filter	<p>値: カatalog探索時の選択基準文字 省略値: ABCGHRXU</p> <p>カatalogされたエントリーの中から、リストアップしたいエントリー種類(非 VSAM、VSAM、別名、ユーザーカatalogなど)を示す選択基準文字を指定します(順不同)。このパラメーターを指定すれば、必要なカatalog種類に絞ってリストアップすることができます。</p> <p>A : 非 VSAM データセット B : 世代別データグループ C : VSAM データセット(クラスター) G : VSAM 代替索引 H : 世代別データセット R : VSAM パス X : 別名 U : ユーザーカatalog L : テープボリュームのライブラリー項目 W : テープボリュームのボリューム項目</p> <p>例えば、ACと指定すれば非 VSAM データセット(世代別データセットを除く)と VSAM クラスターのエントリーのみがリストアップされます。XU と指定すれば別名とユーザーカatalogのエントリーのみがリストアップされます。</p>

## 出力リスト

1	2	3	4	5	6	7	8
A-NVSM	MY. SOURCE					ARTVOL (3010200F)	
①	②					③	

## ① エントリータイプ (オプションのMOD1修正を適用の場合)

A-NVSM	非 VSAM データセット	A-NVSAM
B-GDG	世代管理データグループ	B-GDG
H-NVSM	世代管理データセット (非 VSAM データセット)	H-NVSAM
C-CLST	VSAM クラスター	C-CLSTR
I-INDX	VSAM インデックス	I-INDEX
D-DATA	VSAM データ	D-DATA
G-AIX	VSAM 代替インデックス	G-AIX
R-PATH	VSAM 代替パス	R-PATH
U-CTLG	ユーザーカタログ	U-UCTLG
X-ALIS	別名 (ALIAS)	X-ALIAS

## ② エントリー名 (データセット名)

## ③ ボリューム名と装置タイプコード

最大 4 ボリュームまで表示されます。ボリューム名の右横の括弧内が、カタログされている装置タイプコードです。別名の場合は関連データセット名 (カタログ名)、代替索引とパスの場合は関連するクラスター名か代替索引名が表示されます。

## 完了コードとメッセージ

## 完了コード

完了コード	コードの意味
0	正常終了。
4	指定したカタログは存在しないか、OS のカタログサービス・エラー
8	OS のカタログサービス・エラー。

※SYSUDUMP DD 文が定義されていると、同じコードで ABEND します。(ダンプ採取のため)

## メッセージ

READCAT - PROCESSING ABORT BY CTLG SVC ERROR, CODE=code

## メッセージの意味:

OS のカタログサービス(SVC26)からエラーが返されました。

code: エラーコード(16 進数)

04: 指定されたカタログは存在しない

## プログラムの動作:

処理を中止して、返されたエラーコードを完了コードにして終了する。

## 対処:

コード 4 の場合は、正しいカタログ名を指定してください。その他のコードの場合は、REGION サイズを増やして再実行を試みてください。

READCAT - PROCESSING ABORT BY CTLG CSI ERROR, CODE=code1 (code2)

## メッセージの意味:

OS のカタログサービス(CSI)からエラーが返されました。

code1: 復帰コード(16 進数)

code2: 理由コード(16 進数)

## プログラムの動作:

処理を中止して、返された復帰コードを完了コードにして終了する。code1 が 04 で、code2 の先頭バイトが 64 の場合は処理を継続する。

## 対処:

code1 が 4 の場合は、IDC3009I メッセージを参照して下さい。IDC3009I メッセージ中の戻りコードには Code2 の 2 番目バイト、理由コードには Code2 の先頭バイトが対応します。

code1 が 08 の場合は、code2 の先頭バイトがエラー理由を示します。

01: 記憶域不足 (REGION サイズを増やして再実行を試みてください)

02: 選択基準文字誤り (正しい選択基準文字を指定して下さい)

注意事項
------

- マルチボリューム・データセットの場合、4 ボリュームまでを持つデータセットしかサポートされません。5 ボリューム以上を持つデータセットの場合、先頭の 4 ボリュームまでがリスト表示されます。
- OS の AMS ユーティリティと、件数が一致しないものがあります。
  - ① PAGE データセットのクラスターは VSAM クラスターとして読み込まれるため、AMS では PAGESPACE としてカウントされている分が、READCAT では VSAM CLUSTER として計上されます。
  - ② AMS の LISTCAT ALL ではオフラインボリュームの VSAM エントリーについては、INDEX と DATA 部はカウントされませんが、READCAT では VSAM INDEX、DATA としてそれぞれ計上されます。